

サッカーのクラブユース選手権へ赤穂から3選手

2010年07月10日

姫路のサッカークラブ・エストレラ姫路が中学生世代の日本一を争う「第25回日本クラブユース選手権(U-15)」(福島県・Jヴィレッジ、8月14日開幕)への出場権を初めて獲得。赤穂市内から3選手が大会メンバーに登録され、晴れ舞台での活躍が期待される。

エストレラは今年で創設10年目。18歳以下の大会では3年前に全国出場があるが、15歳以下は関西地区予選の壁を破ったことがなく、節目の年に悲願を達成した。

県予選を8勝2敗4分で突破。清水靖志監督(40)の「チームが一つになるために、自分にできることをする」との指針の下、試合を重ねるごとにプレーの精度とチームワークが向上。全国大会への切符がかかった関西地区準々決勝で、県予選では負けた神戸FCをPK戦で破り、選手もスタッフも泣いて喜んだ。

登録メンバー25人中、DF川嶋悠矢選手(15)=南宮町、赤穂東中=、MF水守雄太選手(15)=尾崎、同=、MF山田航選手(14)=加里屋、赤穂中=の3人が赤穂出身。いずれも小学2年生まででサッカーを始め、「自分の力を試したい」(川嶋選手)などの思いで中学からエストレラへ入団した。

左サイドバックの川嶋選手は堅実な守備が特長。神戸FC戦では落ち着いてPKを決め、勝利を引き寄せた。水守選手と山田選手はともに右サイドハーフ。水守選手は一瞬のスピードを活かしてサイド攻撃の起点になり、ドリブルが得意な山田選手は中盤でのボールキープから攻め上がる。

「3人とも非常に真面目で、ほとんど練習を休んだことがない。姫路まで練習に通いながら勉強も両立している」と清水監督。「持てる力を存分に発揮してほしい」と全国大会での活躍を期待する。3人は「関西予選を突破できたのは、チーム一丸になったから。全国大会も同じ気持ちでプレーしたい」と共通の思いを持っている。



憧れの日本クラブユース選手権に出場する=右から=山田、水守、川嶋3選手